

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	17	124660	防犯推進事業費	
総合計画	分野	02	暮らし	政策	04 日常生活の安全確保	
	施策	02	防犯活動の推進			
目的	市民の防犯意識を高めるため、安全安心まちづくり大会の開催や防犯協会への支援を行う。					
対象	市民					
意図	市民の防犯意識を高めることにより、犯罪被害が減少する。					
事業概要	花巻市防犯協会の活動支援 5,000千円 安全・安心まちづくり大会の開催、防犯パトロール、啓発活動、防犯教室の開催 防犯メール配信やコミュニティFMを活用した情報提供の実施  空港周辺地下道防犯対策 514千円 空港周辺地下道緊急通報装置の管理 3台					
市民参加の有無	無し					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	地域安全大会への参加者数	人	計画	300.00	300.00	
			実績	196.00	194.00	
2	防犯隊延べ活動人数	人	計画	500.00	425.00	
			実績	393.00	374.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	防犯を意識した行動をとっている市民の割合[まちづくり市民アンケート結果]	%	目標	90.00	90.00	
			実績	90.10	90.50	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花巻市防犯協会により、安全・安心まちづくり大会の開催、防犯隊による広報パトロール、年4回の地域安全運動に合わせた街頭啓発活動、特殊詐欺・不審者事案発生に伴う防犯メールの配信及びコミュニティFMを活用した注意喚起を年間を通じ実施することができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	関係機関と連携し、市民が一体となって防犯意識や暴力団追放意識の高揚を図り、犯罪や非行のない安全で安心な地域づくりを行っている団体である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	団体の活動を活性化させることにより成果の向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	防犯活動を包含して実施している団体への補助のみである。補助金交付の事務的な経費のみ。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	全市民に対する啓発であり、公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	市民の防犯意識高揚のため、防犯パトロール車による広報パトロール活動、コミュニティFM等を活用した安全情報の提供を行い、広く市民に意識啓発を図ることができた。
	次年度に向けて	今後も市民の防犯意識高揚のため、引き続き事業を継続する。

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	08	05	02	184400	空家等対策事業費		
総合計画	分野	02 暮らし		政策	04 日常生活の安全確保		
	施策	02 防犯活動の推進					
目的	空家等対策計画の変更を要する場合及び特定空家等に該当するかどうか判断が困難な場合に協議会において審議する。また、安心して生活できる住環境を確保するため、老朽危険空家の解体費用の補助を行う。						
対象	市内の空き家及びその所有者等						
意図	周辺に悪影響を及ぼしている空家の解体除却を推進することにより、市民が安心して生活できる住環境の確保に寄与する。						
事業概要	空き家等対策協議会 0千円 特定空家等の認定等協議会で協議が必要な事象が生じ、開催した場合に出席した委員へ報酬を支出 空家等無料相談会 40千円 空家等に関する無料相談を実施する際の、相談員への謝礼金 老朽危険空家解体補助 1,000千円 空家の中で特に構造の腐朽又は破損等により著しく危険と判断した住宅の所有者等に対して1件当たり50千円を上限として除却解体費を補助 空家等危険度調査業務委託 359千円 市内の老朽化された空きビルについて、特定空家等としての認定の可否の判断材料とするため、危険度調査を業務委託により実施						
市民参加の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛		
		補助・助成			委託		
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	花巻市空家等対策協議会		回	計画	3.00	2.00	
				実績	0.00	0.00	
2	空家等無料相談会		回	計画	2.00	2.00	
				実績	2.00	2.00	
3	老朽危険空家解体補助		件	計画	2.00	2.00	
				実績	0.00	2.00	
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	空家所有者等に対し送付した適切な管理についてのお願い文書に対処した件数		件	目標		40.00	
				実績		16.00	
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
管理不十分空家等に対して、近隣住民等から通報があった場合は、維持管理業務をしているシルバー人材センターのチラシ等を同封し、適切な管理についてのお願い文書を送付しており、令和元年度は44件の文書を送付した結果、市で把握できたもので、16件について所有者等自らが対処していただいた。すべてにおいて、市に連絡しただけのものではないため、市で確認できないが、対処していただいているケースもあると推測され、また、2、3年後に除却しているなどの事例もあったことから、適切な管理のお願い文書を送付することについては、一定の効果があつたと考える。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	第一義的には空家等の所有者が自らの責任により的確に対応することが前提だが、経済的な事情等から自ら空家等の管理を行えない場合に住民に最も身近な市が空き家等に関する対策を実施することが重要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	無料相談会について更なる周知を図り、空家所有者等がかかえる多種にわたる空家の悩みを解消することにより、管理不十分な状態となる空き家を減少させることができる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	補助がないと空家所有者が解体除却費をすべて負担することになるため腐朽した空家の除却が進まない。安全で安心できるまちづくりのためには周辺へ危険を及ぼす恐れのある腐朽した空家の除却の推進が必要。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	周辺へ危険を及ぼす恐れのある空家の除却が行われることにより近隣の住民が安心して暮らせるようになる。又、補助額が最大50万円であり他は自己負担となることから相当の受益者負担がある。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	空家の所有者等関係者の悩みを解決するために、空家無料相談会を実施し、21件の相談に対して相談内容に応じた各専門家が対応したことにより、空家に関する悩みを解消させることができた。危険な状態にある空家を放置することが原因で第三者に被害が及ぶことを未然に防止するため、老朽危険住宅の除却補助を行い、2件の危険な空家が除却された。適切な管理のお願い文書は44件送付した結果、市で把握できたもので、16件について所有者等自らが対処していただいた。そのほか、市で確認できないが、対処していただいているケースもあると推測され、一定の効果があつたと考える。
	次年度に向けて	空家無料相談会を継続して実施し、空家所有者等がかかえる多種にわたる空家の悩みを解消し、管理不十分で危険な状態となる空家を未然に防止する。危険な状態にある空家を放置することが原因で第三者に被害が及ぶことを未然に防止するため、老朽危険住宅の除却補助を継続して行う。近隣住民等から通報があった場合は、所有者等に適切な管理についてのお願い文書を送付し、所有者自らが対処していただくよう通知するとともに、管理状況の悪い空家の減少に努める。